

2017年8月10日 発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter

No.179

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11 嶋田病院
会長：四谷 昌嗣
ニュース編集部：辻 大樹
会員数：919名
施設数：163施設
(平成 29年 5月 31日現在)

「知る」より「分かる」

福井医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻
藤田 和樹

大学教員としての主な仕事は、研究と教育である。私にとって研究は趣味の延長のようなものであり、論文投稿にあたっての相当な苦労も、さほどストレスには感じない。むしろ延々と収集・解析したデータに統計をかける瞬間は、子供のように熱狂している自分がある。そんな私のもう1つの趣味は、我が家の小さな怪獣が寝静まった後、薄暗い部屋で読書をするのである。酒井邦嘉著の「科学者という仕事—独創性はどのように生まれるか」では、研究者としてのフィロソフィーについて書かれている。

本書の中では、「分かる」という深い理解の積み重ねの重要性について説かれている。「知識より理解」、すなわち「知るより分かる」ことが研究のフィロソフィーであると。研修会などに参加し、「知る」ことは大切であるが、それらを理解し記憶に定着させられているだろうか。「分かる」ためには、そこでインプットされた情報をアウトプットする必要がある。研究をするということは、多くの情報をインプットし、それらを統合しアウトプットすることを繰り返す。いわば、「分かる」ための最善の方法である。そして、研究から得た知識・理解が時の経過で失われることはない。

教育の現場で行われている試験は、学生の能力を把握することに加え、知識をアウトプットさせる欠かせないイベントである。多くの学生は、試験日の直前に勉強を始めるわけだが... また、講義中に居眠りをする学生は多いが、この主な原因は教員の話が分からない、つまらないからである。いくら重要な話であっても、眠いものは眠い（学生の頃を思い出すと）。逆に刺激的な講義をし、学生が受動的に知るのではなく、能動的に分かろうとするような講義ができた時は、学生はどんなに寝不足だろうと寝ないものである。

最後に、近代医学は科学に基づくものであるが、理学療法はどうだろうか。日々の診療において己の経験や感覚だけで患者のことを分かっているつもりになっていないだろうか。理学療法には非科学的な側面が必要となることもあるが、やはりその根本には確かな科学的根拠が必要となる。表面的な情報を「知る」のではなく、真理を「分かる」ということを念頭に研鑽していきたい。



福井県理学療法士会

2017年8月10日



平谷こども発達クリニック

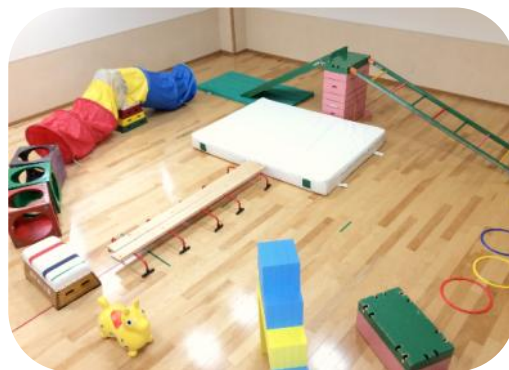
栗田 梨渚

当クリニックは小児科・アレルギー科・精神科を標榜して一般小児科と発達障がいの診療を行っている珍しいクリニックです。平成13年4月に開院し、療育の延長として現在では生活介護・放課後等デイサービス事業所を併設し、大野市児童デイサービスセンターも委託されています。その他、福祉制度を利用した発達支援や学習支援も行い、各市町村の保健センターでの健診や幼児相談会にスタッフを派遣しています。

【平谷こども発達クリニック】

一般外来、アレルギー外来、夜尿症外来、乳児検診・予防接種の他に発達外来を行い、発達障がいの診断から療育までを担っています。非常勤医師として小児科・小児神経科・児童精神科・リハビリ科、合わせて8名の医師にも診療していただいています。

療育部門は心理士4名・言語聴覚士7名・作業療法士1名・理学療法士3名（それぞれ非常勤を含む）で構成されています。自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、ディスレクシアなどの学習障がいのお子様や肢体不自由の方を対象に療育を行っています。中でも理学・作業療法室は、運動や遊び、日常生活動作を通して、お子様の心と体の成長をサポートしています。



【円山事業所 はぐくみ】

18歳以上の方が支援を受けながら過ごす生活介護や小学生から高校生が様々な活動に取り組む放課後等デイサービスを主に行っています。

ここでは発達障がいを持つだけでなく、知的障がい、肢体不自由、一部医療的なケアが必要な方など幅広く利用していただいています。その他、保育所等訪問や相談支援なども行い、多機能型事業所として利用者の皆様にサービスを提供しています。

【大野市児童デイサービスセンター ことばの教室・くれよん教室】

大野市内のことばや発達などに気がかりさを持つお子様の相談を受けています。

一人ひとりの発達段階や特徴に応じて、そのお子様なりの自立やより良い生活に向けて成長を支援しています。

2017年8月10日

Professional ~Style of works~

Profile

- ・氏名：木下 寛隆
- ・所属先：福井総合病院
- ・修得資格：認定理学療法士（脳卒中）
- ・経験年数：9年
- ・出身校：福井医療技術専門学校
- ・その他の資格：なし



Questions

Q1 この資格を取得しようと思った理由を教えてください。

診療をしていて多くの疑問や不安が積み重なっていく中で、基本的な理学療法ができる知識と技術はがあると自身を持ちたくて、この資格を取得しようと思いました。

Q2 この資格に関わる魅力を教えてください。

専門性をもって患者さんに向き合えること、自分のやるべきことが明確になることだと思います。

Q3 この資格を取得して良かったと思うことを教えてください。

基本的な脳卒中リハビリを行うには、膨大な量の勉強をどれくらいしないといけないのか見当が付きませんでした。ひとつの目安ができたように思います。でも、今はさらに勉強する必要性を強く感じています。今までよりも少し自信をもって患者さんに向き合え、治療できる点が良かったです。

家族・同僚から試験に落ちることは考えられないとプレッシャーをかけられていましたので、合格して「おめでと」と声をかけられたときは嬉しかったですね。

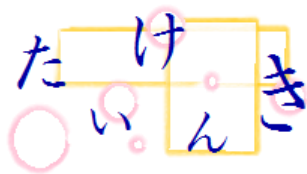
Q4 この資格を取得するために大変だった事などを教えてください。

家族が寝静まってから、夜な夜な勉強しました。暗記が大変で、1つ覚えたら2, 3つ忘れていた状態だったのでいろんな文献を読み理解することに時間がかかりました。今思うと、普段の生活の中に勉強の時間をねじ込むことが大変だったと思います（笑）。

Q5 今後のセラピスト活動に対する計画や目標、希望などを教えてください。

臨床家であることを第一に、急性期脳卒中の患者さんのリハビリに携わっていきたくて考えています。臨床研究も積極的に行っていきたいです。

2017年8月10日



理学療法展に参加して

駅東整形外科 中島 翔平

7月9日、「姿勢を良くして健康長寿～シルバーリハビリ体操で姿勢も心も若返ろう～」をテーマとし幅広い年齢層をターゲットにラブリーパートナー・エルパにて理学療法展を開催しました。私自身、今回が3回目の参加ということもあり、雰囲気や流れなどは把握できています。過去、来場者から「何となく立ち寄ったものの珍しい体験ができ楽しかった」、「運動不足に気がつけて良かった」など好意的な声をいただいたのが印象に残っています。理学療法展は普段の業務とはまた違った新鮮な気持ちになれる機会です。楽しみな1日であります。



今年は座圧を測定する機器を用いての座位姿勢の評価、病院や施設、スポーツ現場でPTが活躍する場面を紹介するパネル展示、姿勢の良し悪しを説明する公開講座などのコーナーに加え、日本理学療法士協会が推奨するシルバーリハビリ体操を受講した2人のPTによる体操の実演がありました。姿勢評価のコーナーには多くの方が来られ、行列になる時間帯もありました。結果の説明はマンツーマンで行うのですが、来場者、PTともに笑顔で話していることもあり満足度も高かったのではないかなと思います。

個人的には今年初めて行われたシルバーリハビリ体操の実演紹介に注目していました。九頭竜ワークショップの北坂先生、ふらむはあとリハビリねっとの福山先生がともに観衆の人たちをひきつける話術とわかりやすい実演を披露されました。地域支援部の先生方が協力してくださった公開講座とともに、来場者の方達は真剣な表情で体操されるだけでなく、時に笑い声に包まれた温かい雰囲気で大盛況でした。



最後に、理学療法展を通して、たくさんの方々から感謝の言葉であったり満足度の高い声を頂くことができたりして嬉しく思います。また、普段は使用しないような特別な機器を使用しての検査は、来場者の方はもちろん、私も新しい発見をすることができ、とても勉強にもなります。来年以降も県民の方に興味を持ってもらえるような企画を準備し、健康増進に貢献できるイベントとなっていくように盛り上げていきたいと思っております。



2017年8月10日

奥越ブロックセミナーに参加して

医療法人キラキラ会 松田病院 黒田 秀俊

平成29年6月10日、安間整形外科医院にて奥越ブロックセミナーが開催されました。今回、「生活期から考える！これから求められる理学療法士の在り方」という演題でふらむはあとリハビリねっとの理学療法士である小林裕和先生をお招きし、ご講義して頂きました。

近年理学療法士の人口数が増加している中、職域の拡大が必須になってきます。職域の拡大は同職種との連携が重要になり、さらにその後には他職種との連携が重要になってくることを学びました。他職種との連携を図るには理学療法士が出来る事を他職種に知ってもらい、他職種から何を求められているのかを知ることでお互いに連携が取りやすくなることを知ることができました。

また、今回の勉強会では、各々特色のある病院や施設の先生方がグループ毎に分かれ、小林先生が過去に担当された症例についてグループディスカッションする時間も設けられていました。私は今年から生活期分野で働く事になりましたが、急性期、回復期で従事されている先生方とディスカッションする事で、私とは違った目線での考え方を知ることができました。また、私と同じ生活期分野で活躍されている先生方が、自分では想像もできなかった角度から症例を捉えられており、それが良い刺激となり今後一層努力していこうという気持ちになりました。

入職したてで右も左も分らない新人セラピストの私ですが、今回の勉強会を受講し、急性期から回復期、生活期と広がってきた理学療法士の活動の場、代わりゆく社会情勢も踏まえ、今我々理学療法士に求められていることを整理し、どのように活動していけば良いのかを知る良い機会となり、本当に参加して良かったと感じています。

尾崎整形外科 幅岸 輝道

平成29年6月10日、安間整形外科で開催された第1回奥越ブロック理学療法セミナーに参加させていただきました。

ふらむはあとリハビリねっとの理学療法士の小林裕和先生による「生活期から考える！これから求められる理学療法士のあり方」というテーマで、理学療法士を取り巻く社会情勢や地域において理学療法士の専門性を活かすためにすべきことなどのお話を先生の体験も踏まえてお話して頂き、最後に参加された理学療法士の先生方とのグループワークを行いました。

お話の中で一番印象に残ったのが退院直後に患者様の身体機能が悪化しやすく、理学療法士がその時にどのように関わるかということについてで、他職種への説明や退院後指導の重要性を改めて知ることができ、今後活かしていきたいと感じました。



グループワークでは、他院の理学療法士の先生方との交流も深めることができ、提示された患者データから、患者様の身体機能、ADL能力やリスクなどといった情報のとらえ方や考え方も学べ、有意義な時間を過ごすことができました。

今回のセミナーで得た知識を活かして治療を行っていくとともに、地域医療が少しでも発展できるように貢献したいと感じました。

2017年8月10日

福井しあわせ元気大会2018 に向けて

コンディショニングルーム Q&A



公益社団法人福井県理学療法士会ふくい国体準備委員長 山崎 孝

Q: スタッフとして参加するには、資格や研修会の参加が必要ですか？当日はどのような業務ですか？

A: しあわせ元気国体には、日体協ATや県認定のAPTの認定資格が必要でしたが、しあわせ元気大会はPT協会会員（県士会会員）であれば可能です。

当日の業務は、ブース受付で来場した選手にアンケートを記入してもらい、希望する内容（主にストレッチが多い）の理学療法を行っていただきます。1選手20～30分が目安です。競技種目によっては予約待ちがあるほど来場されます。コンディショニングは各個人が行うことのできる理学療法を提供してもらうため特別な研修会は予定していません。経験を積みたいという希望者には今後のスポーツ支援部の事業に参加していただくことが可能です。研修会ではなく各会場ごとにミーティングの開催は検討しています。

Q: 経験が浅く、スポーツ選手のリハビリは普段していないのですが大丈夫でしょうか？

A: ATの方でもスポーツ現場での選手とのファーストコンタクトの際は不安があると聞いています。誠意をもって、各自の知識、技術の範囲の理学療法を提供してください。

Q: どのような大会ですか？選手はどのような方々ですか？

A: 障害のある選手が競技を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進に寄与することが本大会の目的です。選手は身体障害者（肢体・視覚・聴覚）、知的障害者です。

Q: 定員は何名ですか？落選することはありますか？

A: 会場は6会場で総勢40名程度のスタッフが必要です。応募人数が多い場合は、先着順や2日間参加できる方を優先する予定です。定員オーバーでも、今後オープン競技種目の競技団体からスタッフの募集依頼が予測されていますので、そちらへの協力をお願いします。

Q: 申込みしてからのキャンセルは可能ですか？

A: 来年1月の最終決定後のキャンセルは控えて下さい。

Q: 職場への公文書はもらえますか？

A: 県から各個人に委嘱状が渡されると思われます。職場用の公文書が必要な方には発行できると思われます。

Q: 競技を観戦する時間はとれますか？

A: 競技会場によっては、コンディショニングの順番待ちになるくらい来場されます。最小限のスタッフで運営するため難しいかもしれませんが、対応した選手の試合がみられるような配慮をしたいと考えています。

Q: 当日にスタッフとしてではなくコンディショニングルーム会場に入れますか？

A: セキュリティーが厳しい大会です。大会関係者用のタグがないと入れないと思われます。興味のある方はスタッフとして参加してください。

2017年8月10日

福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ



コンディショニンググループの 運営スタッフ募集

資格や研修は不要
PT会員ならだれでも可能

平成30年10月7日(日)・8日(月・祝)

・車椅子バスケット (福井市)

平成30年10月13日(土)・14日(日)

・陸上競技 (福井市)

・フライングディスク (坂井市)

・サッカー (坂井市)

・ソフトボール (越前市)

・フットベースボール (敦賀市)



和歌山大会のコンディショニンググループ



日本障害者スポーツ協会HPより引用

<業務内容>

- ①コンディショニンググループ来場選手の希望内容を聴取
- ②各自ができる理学療法を提供(ストレッチが主)
- ③給水・アイシング・受付等の補助

申し込み方法:

福井総合クリニック e-mail : fgh-pt.mail_host01@f-reha.jp

件名に「障害者国体参加希望」 ①氏名②所属③アドレスを明記

(募集期間:平成29年9月末まで)

2017年8月10日

【編集後記】

梅雨も明けて暑い夏が来ました。夏といえば、海へ行ったり、バーベキューをしたり楽しい季節ですね。先日海水浴に行きましたが日焼け止めを塗り忘れてしまい、体中が痛いです。皆さんも日光の下で楽しむ場合には日焼けに注意してください。(S)



賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1-10-18
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	
順不同	